沖縄県中頭郡北谷町
美浜区・謝苅区

異なるハザードを組み合わせた 双子の避難計画

じゃーがる

1：美浜区・謝苅区どんなところ？

美浜区

- 商業地・観光業が広がる海岸沿い
- ホテル・民泊施設が点在する中に居住エリアが存在。
- 居住者は地元沖縄出身者と本州からの移住者
外国籍・米軍人軍属家族など多様性がある。
- 基地返還地のため地区としての歴史が浅い
- 地区のほとんどが5m未満の低床地になっている。
- ほとんどが埋立地になっている。

謝苅区

- サンゴ土壌の上に成る住宅地。
- 比較的標高はあるものの、崖やのり面が広がっている。
- 地区内に土砂災害警戒区域を有する。
- 自治会・青年会などの地域の繋がりがあり
エイサーや地区の祭り等行事への住民参加も多い。
- 津波を伴う災害時には西海岸からの多数の避難者
受入れが必要と想定している。

2：美浜区・謝苺区災害リスク

美浜区

- 地震に伴う津波
- 地震に伴う液状化
- 大型台風接近時の高潮・高波
- 地区内要支援者避難（高齢化率の増加・観光客・外国人など）
- 住民の防災・災害対応への取組み
（エイサーがなく若年層の関心を集めにくい）

謝苺区

- 地震に伴う土砂災害
- 豪雨に伴う土砂災害
- 西海岸地域からの避難者受け入れ
- 住民の防災・災害対策への関心度向上
- 避難所のキャパシティー
（地区住民を超える避難者対応の限界）

3：ワークショップと自主活動

美浜区

防災Café・防災イベント・訓練など
日頃から実施

7月30日【自主活動①】

- ・夏休みのラジオ体操の時間に合わせ有志による「まち歩き」を実施。
- ・『美浜区防災マップ』を作成し配布。

謝苺区

昨年11月・自主防災会が発足
2月・防災研修センター見学

8月29日【ワークショップ①】
・鍵屋先生のお話&グループワーク

8月30日【ワークショップ①】

- ・地区の課題について洗い出し
- ・高校生から町議会議員など
多様な住民参加による意見交換が行われた

10月8・9日【自主活動②】

- ・地区内AED/車イスの設置状況確認
「まち歩き」(夕方/午前)
- ・「まち歩き」情報共有とWS振り返り

10月4日【自主活動①】

- ・WS振り返り
地区の課題をひとつずつ振り返り
自分たちでできる対策を考えた

大項目	小項目	◎	△	×
災害に備えること	土砂崩れ	1	2	4
	家が壊れ、事業が中断している	4	2	1
	火災	2	7	1
	プロック崩壊	3	2	1
災害に備えること	防災グッズが備わっていない	4	1	1
	防災が何故か「補助金」でしかない	4	2	4
	避難場所	10	1	1
	避難先	4	3	1
避難に備えること	大規模の避難	4	3	1
	避難が早い	4	4	1
	避難が早い	2	7	1
災害に備えること	避難場所の確保	1	1	1
	1人が多数の被災	1	1	1
避難に備えること	避難先への避難	4	2	1
	避難の準備	1	1	1
	避難先への避難	1	1	1
避難に備えること	避難先への避難	4	1	1
	避難先への避難	4	1	1

10月13日【自主活動②】

- ・防災いろいろ体験会イベント実施
毛布/衣類担架作成
身近なアイテムで応急処置
バケツトイレ
100均防災グッズ など

10月13日: 2地区合同地区防災計画づくりワークショップ

- ・担当アドバイザー 鍵屋 一跡見学園女子大学教授 ゲスト 神谷 大介琉球大学教授
- ・地区ごとに異なる災害リスクへの対策を考えるワークショップ

10月31日【自主活動③】

- ・防災Caféにて「SNS活用した情報共有
安否確認システム」について勉強会

これから...

- ・要支援者名簿づくりに向けた
「まち歩き」
- ・LINEグループ「あんしん美浜(仮)」
など

10月【自主活動③】

- ・立体防災マップ(ジオラマ)作成
地図から等高線切り出しワーク

これから...

- ・立体マップ制作こどもワークショップ
- ・要支援者目線ピン立てワークショップ
など

- ・地区防災計画の策定
- ・地区防災計画を踏まえた相互協力
- ・両地区合同防災イベント(低床地・美浜から標高の高い謝苅へ避難経路・誘導訓練など)
- ・コミュニティのイベント(祭りやエイサー、沖縄の年中行事など)での防災コーナー
- ・要支援者対策ノウハウの共有

など

みはま♡じゃーがる さいがい支え愛プロジェクト

海的美浜と山の謝苅が協働で
互いの異なる自然災害リスクを
共有して分かち合える住民づくりを目指します！